

## 令和8年度北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会開催要項

- 1 目的 北信越ブロック内におけるスポーツ少年団指導者相互の連携と資質・指導力の向上を目的とする。
  - 2 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団  
公益財団法人新潟県スポーツ協会 新潟県スポーツ少年団  
公益財団法人富山県スポーツ協会 富山県スポーツ少年団  
公益財団法人石川県スポーツ協会 石川県スポーツ少年団  
公益財団法人福井県スポーツ協会 福井県スポーツ少年団  
公益財団法人長野県スポーツ協会 長野県スポーツ少年団
  - 3 主管 公益財団法人新潟県スポーツ協会 新潟県スポーツ少年団
  - 4 期 日 令和8年11月21日（土）
  - 5 会 場 長岡グランドホテル  
〒940-0066 新潟県長岡市東坂之上町 1-2-1 TEL:0258-33-2111  
<https://breezbay-group.com/nagaoka-gh/>
  - 6 参加対象 各県10名とし、次のいずれかに該当する者とする。  
(1) 各県スポーツ少年団役員  
(2) 各県スポーツ少年団指導者  
(3) 各県スポーツ少年団リーダー代表  
(4) 各県スポーツ少年団育成事務担当者
  - 7 内容・日程
 

|             |                                                                                                                                                                              |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12:30～13:00 | 受付                                                                                                                                                                           |
| 13:00～13:15 | 開会式                                                                                                                                                                          |
| 13:15～15:15 | 分科会（全国共通テーマのうち1つに参加）<br>A スポーツ少年団の持続的な発展に向けた組織運営とガバナンス<br>B 地域課題の解決に向けてスポーツ少年団ができること<br>C 子どもたちのスポーツ環境の充実に向けた他団体との連携・協働<br>※分科会での協議内容は「令和8年度スポーツ少年団ブロック指導者研究協議会共通テーマ協議観点」を参照 |
| 15:15～15:30 | 休憩                                                                                                                                                                           |
| 15:30～16:00 | 全体会（分科会発表及び意見交換）                                                                                                                                                             |
| 16:00～17:30 | 講演 保護者との協力関係をいかにして構築するか？<br>ーグッドペアレントを育てるスポーツ少年団の役割ー<br>講師：澁倉 崇行 氏<br>（一社）スポーツフォーキッズジャパン（SKJ）代表<br>日本女子体育大学体育学部教授（スポーツ心理学）<br>日本スポーツ少年団指導育成部会部会員<br>（公財）全日本軟式野球連盟指導部会外部委員    |
| 17:30       | 閉会                                                                                                                                                                           |
| 17:30～18:00 | 休憩                                                                                                                                                                           |
| 18:00～20:00 | 情報交換会（長岡グランドホテル）                                                                                                                                                             |
- <講演内容>
1. 保護者との協力関係がなぜ大切なのか？ スポーツ・ペアレンティングの考え方を理解する！
  2. グッドペアレントに求められる親力 保護者向けの研修会でSKJが伝えていること
  3. いかにして保護者との関係構築を実現するか？ 協調的コミュニケーションを行おう！
- 8 参加料 参加形態により下記のとおりとする。  
① 研修会のみ 無料  
② 研修会+情報交換会 6,000 円  
③ 研修会+情報交換会+宿泊 8,000 円  
各県で参加を取り纏めのうえ、参加申込時に一括して下記に振り込むこと。

【振込先】

第四北越銀行 姥ヶ山支店 普通口座 5050874

北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会 会長 滝沢 一博

タキザワ カズヒロ

- 9 参加申込 各県で参加を取り纏めのうえ、別紙参加申込書により令和8年10月30日（金）までに下記へ申し込むこと。  
なお、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格更新研修として参加する場合、『更新研修』申請書も提出すること。

【申込先】

公益財団法人新潟県スポーツ協会新潟県スポーツ少年団（担当：西澤）  
〒950-0933 新潟市中央区清五郎 67 番地 12  
デンカビッグスワンスタジアム内  
TEL:025-287-8600 FAX:025-287-8601  
E-mail:suposyo@niigata-sports.or.jp

- 10 その他 (1) 分科会は、参加申し込み時に、第1希望・第2希望を記入のこと。  
(人数調整の結果、第2希望となる場合がある)  
(2) 駐車料金については下記のとおりとする。  
・長岡グランドホテル宿泊者で同ホテル駐車場利用の場合は、主催者で負担。  
・宿泊しない方で長岡グランドホテル駐車場利用の場合は、3時間まで無料（超過分は参加者負担）。  
・長岡グランドホテル以外の駐車場利用については参加者で負担。  
(3) 本研究協議会の参加により、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになる。

本研修会に参加して実績が認められると、公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格における更新登録の要件を満たします。

ただし、次の一部資格は取り扱いが異なります。

■対象外となる資格

次の資格は、本研修会に参加しても実績が認められません。

水泳（全種目）／サッカー／バスケットボール／バドミントン（コーチ 3・4 のみ）／ライフル射撃（スタートコーチのみ）／剣道／空手道／エアロビック（コーチ 4 のみ）／スクーバ・ダイビング／プロゴルフ／プロテニス／プロスキー

／スポーツドクター／スポーツデンティスト／スポーツ栄養士／クラブマネジャー

■実績が認められると、更新登録の要件を一部満たす資格

次の資格は、本研修会に参加して実績が認められると、記載のポイント・単位等を獲得したことになりますが、更新登録には、別途資格毎に定められた要件をすべて満たす必要があります。

テニス：1ポイント／バウンドテニス：1ポイント／オリエンテーリング：1ポイント／アスレティックトレーナー（カテゴリーC）：1単位／チアリーディング（コーチ 3 のみ）：1回分

※2026年4月1日現在

※更新研修の詳細は、日本スポーツ協会ホームページをご確認ください。

※指導者マイページへの受講実績の反映は、研修参加から概ね2か月後となります。

令和8年度スポーツ少年団ブロック指導者研究協議会共通テーマ協議観点  
(日本スポーツ少年団通知から抜粋)

(1) スポーツ少年団の持続的な発展に向けた組織運営とガバナンス

<協議観点>

- ・ スポーツ少年団が将来にわたって持続的に活動していくためには、スポーツ活動や社会活動等だけでなく、組織として適切に運営する仕組みや体制を整えていくことが重要となる。
- ・ スポーツ団体ガバナンスコード(一般スポーツ団体向け)は、スポーツ団体が適切な組織運営を行うための原則・規範を示すものであり、スポーツ少年団においても、登録システムのリニューアルに伴い、令和9年度から各单位団での対応が必要となる。
- ・ 一方で、ガバナンスコードへの対応や団規約の整備、必要な情報の公表等が、単に「実施すること」や「チェックすること」を目的とするのではなく、実際の団運営の改善や、団員・保護者・指導者等から信頼される組織となることが重要である。
- ・ そこで、ガバナンスコードへの対応を契機とし、スポーツ団体ガバナンスコードが求める背景や、その対応が組織運営においてどのような意味を持つのかを理解した上で、各单位団における現在の組織運営上の課題を整理するとともに、スポーツ少年団が持続的に活動していくために必要な組織運営やガバナンスのあり方、具体的な取組について協議する。

(2) 地域課題の解決に向けてスポーツ少年団ができること

<協議観点>

- ・ スポーツ少年団は、子どもたちのスポーツを通じた健全育成をはじめ、「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」という理念のもと、地域に根差した活動により、地域の課題解決や活性化に貢献する。
- ・ 例えば、「スポーツ×まちづくり」「スポーツ×文化学習」「スポーツ×奉仕」など、スポーツのもつ価値や強みを地域の取組や資源と掛け合わせることで、地域課題の解決につながるものとなる。
- ・ スポーツ庁では、「スポーツ×防災」の取組として、スポーツを通じた体験型防災教育プログラム「PLAY BOSAI」の開発・普及を進めており、スポーツの持つ競争性やゲーム性を生かして防災を学ぶとともに、日常のスポーツ活動が防災につながることなど、異なる分野を掛け合わせた新たなプログラムを生み出している。このように、スポーツから他分野への可能性を考えるだけでなく、地域課題や社会課題の側からスポーツの持つ価値や特性を捉えることで、新たな価値や取組につなげることもできる。
- ・ そこで、地域が抱える社会課題や地域の特色とスポーツ少年団を組み合わせた、「スポーツ×○○」という視点から、地域課題の解決に向けてスポーツ少年団だからこそできることは何か、具体的にどのような取組を実践できるかについて協議する。

(3) 子どもたちのスポーツ環境の充実に向けた他団体との連携・協働

<協議観点>

- ・ 子どもたちを取り巻くスポーツ環境が変化する中、スポーツ少年団だけでなく、総合型地域スポーツクラブ、学校、自治体、競技団体、地域団体等、様々な団体や関係者が子どもたちに関わっている。
- ・ その中で、それぞれの団体が有する活動場所や人材、ノウハウ、ネットワーク等の資源を生かし合い、連携・協働することにより、単独では実現が難しい活動や体験の機会を子どもたちに提供できる可能性がある。
- ・ そこで、地域における各団体との関係や現在の連携状況を踏まえ、子どもたちのスポーツ環境をより充実させるために、どのような団体と、どのような目的で、どのような連携・協働ができるかについて協議する。